

ふるむなード

第31回森林レクリエーション地域 「美しい森づくり活動コンクール」受賞団体の活動(3)

一般社団法人全国森林レクリエーション協会会長賞

特定非営利活動法人環境整備・森と竹で健康クラブ（静岡県沼津市）

なぜ私たちは里山整備に取り組んでいるか(私たちの思い)

－15年間の活動を顧みて－

2005年数人の仲間と里山整備活動をした
いとグループを結成しました。私たちの思
いを込めて、環境整備「森と竹で健康クラブ」
と名付けました。私たちの思いとは、人の
役に立つ社会貢献活動を行い、第二の人生
の生きがいを見つけながら、心身ともに健
康な生活を送ることでした。15年目を迎え
た現在、大勢の仲間を迎え、自然を相手に、
週2日の活動が欠かせないほど会員の生活
にリズムと張りをもたらしております。

なぜ里山整備なのか

森は私たちに多くの恵みをもたらしてく
れます。生命維持に必要な水、地球温暖化
防止に役立つCO₂の削減、土中への雨水の
吸収で水害防止、動植物が増えて生態系が
豊かになる、森は海の恋人といわれるごと
く豊富な魚介類の生育等自然にある森は大
切な役目を果たしてくれています。いま、
私たち人類を含めてすべての動植物が、幾
世代を超えて生存できる環境を持続的に守
ることが求められております。

私たちにできること

私たちが住んでいるところは、すぐそば
に森や海等自然がいっぱいです。しかし、
整備されていない森や荒れた竹林が目に入
ります。そこで都会に住む人びとではなか
なか取り組めないが、私たちにはその気にな
れば、身近に課題がいっぱいの森があり
ます。

山仕事の経験は皆無ですが、ほとんどの
会員は子どものころ山や自然の中で親しん
だ思い出がありますので、ごく自然に課題

を共有でき、里山の整備作業に取り組むこ
とができました。

退職後の高齢化した人生なので、無理を
せず無理をさせず一人一人ができる範囲で
活動に参加しております。当然のことです
が安全第一で取り組んでいます。

私たちがやってきたこと

(1) 農家の私有竹林の整備と維持管理の受
託（裾野市葛山田場沢 約1ha）

2006年から高齢化した竹林所有者から、
ブランドタケノコとして有名な田場沢の竹
林管理作業を受託。毎年ゆでタケノコを販
売し、売上金の一部をクラブの活動資金に
充当しています。

(2) 特種東海製紙(株)様社有林の整備と維
持管理の受託（長泉町東野字八分平 約
1ha）

人工ヒノキ林に侵入した竹の伐採と雑木
の除伐。道路から投げ込まれた産業廃棄物
の除去。2007年から毎年100名前後の参加
者を得てタケノコ祭り実施しています。



タケノコ祭り（特種東海製紙(株)社有林）

(3) 沼津市千本悠久の森の整備（植田、桃
里、一本松地区の県営林 約5ha）

2009年から松林内の下草刈り、松苗の植樹、枯れ枝・ゴミ拾い（年2回の作業）。無償作業。静銀沼津駅北支店の関係者による小さな親切運動及びボーイスカウト沼津第4団と連携。



クロマツ植樹祭（千本悠久の森）

(4) 沼津市愛鷹運動公園内ヒノキ人工林を森林公園として整備（10.6ha）

2010年から灌木の除伐、枯れ木・風倒木の除伐、ヒノキの間伐、遊歩道の整備、見晴台の整備。人が立ち入れないほど荒れたヒノキ人工林を市民が散策を楽しめる森林公園に。無償作業。

(5) 沼津市愛鷹運動公園内放置竹林及び侵入竹林の整備（2.0ha）

2015年から孟宗竹・笹・雑木の除去、落葉広葉樹植樹跡地に落葉広葉樹を植樹し、動物多様性の森林空間実現。無償作業。



シイタケ植菌体験会（愛鷹運動公園）

(6) 富士市田中新田財産区内松林の整備受託（3.5ha）

2016年から塩害で消失松林の跡地に植えた松苗木林の下草刈り。地元自治会構成員の高齢化で自前作業が困難。委託により年2回の作業。

森の大切さを伝える活動

森や自然を守る活動が私たちの活動だけ

でなく、大きく広がることを期待して一般市民の参加を得るイベントも継続実施しています。

- ・タケノコ祭り（2007年から毎年実施。最近では150名超）
- ・植樹活動（2008年から毎年実施。社有林、市有林、県有林、竹林跡地等）
- ・間伐体験研修会（2010年から隔年実施。市民及びボーイスカウト等参加）
- ・シイタケ菌植菌体験（2013年から毎年実施。子どもを含めた市民50名程度参加）
- ・沼津市民憲章体験活動（2019年実施。市民参加で放置竹林の整備と跡地に落葉樹の植樹）

スタートからの15年間を振り返って

- ・スタート時6名（平均年齢65歳）。15年後の現在24名（平均年齢73歳）。
- ・年間の活動日数約1,150人日。活動日（毎週水・土2日）、参加人員平均15名/日。
- ・委託有償活動日（年間 350人日）。自主無償活動日（年間800人日）。
- ・メンバーの活動参加意欲高く、精神的にも肉体的にも健康で、高齢化を感じさせず。

特定非営利活動法人（NPO法人）としての新たなスタート

社会貢献活動を開始して15年目、任意団体から共助目指すNPO法人として再スタートしました。法人化した狙いは、当初からの目的である自然環境の整備を通じた社会貢献活動をさらに共助的に発展させ、持続的に行えることにあります。NPO法人としては、定款に定める以下の事業を行います。

(1) 森林環境保全事業

ア 国及び地方自治体関連の森林環境整備事業

イ 企業等から委託された森林・竹林整備事業

ウ 個人及び地区自治会等から委託された森林・竹林整備事業

エ その他の森林環境保全事業

(2) 市民との協働事業

ア 地域の森づくり推進団体との協働事業

イ 森づくり体験・研修事業

ウ その他の市民との協働事業

（理事長 貞清 恒夫）